

議会だより

第79号

発行 安曇野市議会
令和7年(2025年)
8月21日



6月定例会報告	2
・ 常任委員会報告	4
一般質問	9
・ 子どもの権利に関する市民説明会	18
家族にひとこと	20
・ 議会だよりモニター座談会・速報版	22
市民の声	24

コマクサが咲き雷鳥の親子が遊ぶ悠久の自然が織りなす燕岳

写真提供：(燕山荘) 赤沼健至 様



表紙の「北アルプスの女王」と呼ばれる燕岳の詳細な説明は23ページをご覧ください。

令和7年6月6日から6月27日まで開催され、報告16件、議案13件、請願2件、陳情7件、議員提出議案4件を審議しました。主な議案と質疑、討論を紹介します。



(通称)中房線は復旧へ

6月議会にて計上・審議された 主な補正予算と使途内訳

(1000円未満切り捨て)

- 令和7年一般会計補正予算(専決1号) 2,000万円
中房線の路面崩落事故に対する復旧工事に関わる経費
- 令和7年一般会計補正予算(第1号) 7億2,300万円
定額減税給付事業 …5億8,528万円
改修が必要な遊具の撤去・更新費用 …2,900万円
本陣等々力家の事業に関する費用 …9,301万円
- 令和7年一般会計補正予算(第2号) 3,800万円
ほりでーゆ〜四季の郷施設修繕 …3,100万円
中房線復旧に伴う登山者無料送迎の補助 …700万円

総務環境委員会審査報告(中間報告)に 関する質疑

審査未了として報告された「令和6年陳情第8号 防犯カメラの設置に関する計画とガイドライン整備等を求める陳情」について

問

- (1) 防犯カメラ設置やガイドライン整備などの陳情は審査未了となったが、委員会で項目ごとに議論はされたのか。
- (2) 政策提言に陳情内容が含まれる可能性がある中で、一部採択を検討する選択肢はあったのか。
- (3) 審査未了のまま政策提言に内容を含めることの矛盾と、市民への説明責任をどう考えるか。

答

- (1) 一部採択の要望は出されず、正式な検討もなかった。陳情全体を提言に取り込む形で対応した。
- (2) 個別項目としての詳細な審査は行わず、提言に反映する方向で進めた。
- (3) 陳情と政策提言は一体として検討し、陳情者の思いを無にせず提言で生かす方針。審査未了でも矛盾はないと考えている。

議員提出第3号 物価高騰対策を求める意見書

不採択

賛成の意見

国民生活に深刻な影響を与えており、参院選後の政権には負担軽減を図る政策の実現が求められる。

白井泰彦

生活基盤を脅かす深刻な問題であり、地方議会が国に責任ある対策を求めるのは当然の役割。

増井裕壽

すべての国民が安心して暮らせる社会の実現を目指すために、国に早急かつ効果的な対策を求める。

林孝彦

反対の意見

対策の必要性は共有するが、意見書は既存施策の繰り返しにとどまり、優先順位などの整理が不十分。短期支援に偏る危うさもある。

矢澤毅彦

影響は認めるが、減税は財源不足を招く恐れがあり、国の既存施策と重複する部分も多い。

辻谷洋一

陳情第6号

児童クラブ利用において保護者の対象から祖父母を削除することを求める陳情

採択

賛成の意見

児童クラブは保護者の就労を支え、子どもたちに安心の居場所を提供する大切な仕組み。祖父母要件の廃止は、現代の家庭の多様な実情に即した改善である。

矢澤毅彦

林孝彦

急速な社会の変化と社会の実態に合わせ、祖父母がいる場合でも保護者の対象から削除するといふ、より柔軟な対応が必要。

陳情第2号

安曇野市の適正な土地利用に関する条例、並びに景観条例等関連条例の見直しを求める陳情

不採択

賛成の意見

安曇野の田園や北アルプスの景観は地域の誇りであり、市民共有の財産であり、後世に守り伝えるべき。

白井泰彦

増井裕壽

林孝彦

猪狩久美子

井出勝正

反対の意見

現行の高さ制限30メートルは、既存建物や景観との調和を考慮し慎重に決められた妥当な基準であり、見直しは不要。

岡村典明

一志信一郎

中村芳朗

宮下明博

景観は一度壊れると回復困難であり、景観保全と地域の価値向上を両立させる見直しを求める。

専門家や住民との議論を通

じ、地域資源の価値を守り育てる必要がある。

景観保全を優先し、持続可能なまちづくりを目指すべき。

景観は一度壊れると回復困難であり、景観保全と地域の価値向上を両立させる見直しを求める。

現制度の維持を優先すべき。

議員提出第4号

選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書

可決

反対の意見

拙速な意見書提出は、市民の総意と誤解を生じさせる。

大竹啓正

賛成の意見

アイデンティティと差別撤廃の観点から法制化を求める。

林孝彦

賛成の意見

陳情採択を踏まえ、議会として意見書提出は当然。

竹内秀太郎

陳情審議で活発な討論

反対の意見

大竹啓正
増井裕壽
辻谷洋一
宮下明博

夫婦同姓は日本の文化や家族の一体感を象徴する基盤であり、急激な制度改正は社会秩序や家族観の崩壊を招くと懸念される。

子どもが親と異なる姓を持つことで混乱や帰属意識の低下が起ころう。

現行制度下でも旧姓の通称使用が可能になりつつあり、改善余地は残されている。

選択的とはいえ、不可逆的な変化を伴うため、拙速な導入ではなく慎重な議論が必要だ。

姓の選択は個人の希望だけでなく、社会全体の安定や文化的背景を踏まえ慎重に議論すべき課題。

拙速な法制化は避けるべき。

賛成の意見

林孝彦
小林純子
中村今朝子
猪狩久美子
竹内秀太郎
矢澤毅彦
白井泰彦
一志信一郎
井出勝正

同姓・別姓を自由に選べる制度であり、現状の「姓を変えなければ結婚できない」という制約をなくし、個人の尊厳やアイデンティティを守る選択肢を増やすことが目的。

国際的にも日本だけが夫婦同姓を義務づけており、国連などから改善勧告を受けている。

別姓を選んでも他人や同姓希望者に不利益はなく、選択肢を広げることでも多様性やジェンダー平等、女性活躍の推進につながる。

姓や氏は個人の人格やキャリアに深く結びつくものであり、変えたくないという声に応える必要がある。
家族の絆は姓の一致ではなく、互いの信頼と尊重によって築かれるべき。

オンラインによる常任委員会の録画配信が始まりました。
各委員会ページの二次元コードからご覧いただけます。



オンラインによる常任委員会の録画配信が始まりました。
各委員会ページの二次元コードからご覧いただけます。



総務環境

議案第52号
令和7年度一般会計
補正予算
(総務環境委員会所管事項)

全員賛成
採択
すべきものと決定

大阪・関西万博について

開催中の大阪・関西万博に本市が展示参加すること。埋立地に建設された会場の特性からメタンガスの爆発火災も発生している。関係職員は了解しているか。万博会場の課題等々、国からも通知があり、問題について報道もされているので、承知している。職員の派遣にあたっては、安全のガイドラインを踏まえ、現場の指示に従うことを周知徹底する。展示参加料は国の負担。職員旅費約47万円、出展物の作成費用約141万円など、200万円余りの増額補正。

答

この陳情の趣旨は、戸籍制度を変えようというものではない。入籍という言葉を使うことについて「結婚したら籍を入れるのではなく、新たに戸籍を作る」という説明は重要な認識。グローバル化する中でも日本の独特な価値観は大事にしたい。選択的別姓で任意であっても、今は立ち止まって考えたい。

反対の意見

大竹啓正 松枝 功
辻谷 洋一

地方議会が選択的別姓制度を採択してしまうと、その後すべての議論がストップしかねず、社会に多大な影響がある。現代においても家長制につながるような価値観は否定できないので、選択的とは言え別姓を認める制度化には慎重であるべき。

トピック

市内の空き家 その実態は？
詳細な調査に着手

これまで調査の手法の違いから、国の調査と市の調査の結果にかなりの開きがあり、空き家の実態が掴み切れていませんでした。今年度、市が行う全戸調査は、これまでに市が把握した空き家のデータに加え水道の使用量のデータを使い調査するもので、これにより新たな空き家を把握し空き家対策に資すると期待されます。

陳情第4号
若者の議員報酬引き
上げを求める陳情

全員反対
不採択
すべきものと決定

陳情第3号は、継続審査の申し出があったが、賛否同数のため委員長裁決により、否決とした。採決にあたっては、賛否同数のため委員長裁決により、採択とした。

賛成の意見

井出勝正 竹内秀太郎
小林 純子

夫婦別姓について国会の論議が進まない中、司法は夫婦別姓を認める判断を出している。夫婦別姓になると、先祖代々受け継いできたものや絆がなくなってしまうと感じる人もいるが、夫婦別姓を選択的に自由に選べるのが、今の時代には必要である。

令和6年
陳情第8号
防犯カメラ設置に
関する陳情

全員賛成
継続審査
すべきものと決定

再々度の継続審査となり、審査未了となった。

陳情第3号
選択的夫婦別姓制度
に関する意見書提出
を要望する陳情

賛成多数
採択
すべきものと決定

議員間討議・意見交換

福祉教育

請願第1号
「カリキュラム・オー
バーロード」の改善
を求める意見書採択
の請願

全員賛成
採択
すべきものと決定

請願者への質疑

問 今、学校で起きている問題は何か。

答 例えば高校の図形の証明の学習が中学に下りてきて、今までより少ない時数で単元が終わるので、よくわからないと感じる生徒が増えているのではないかと思います。内容の精選をしてほしいということだが、時数を増やすことは考えないか。

問 小学校5年生の1998年からの授業時数980時間が現在1015時間となっており、非常に苦しい状況だ。

答

委員間の意見交換

・教育の質を落とさずに、教育課程の精選を進めることがすごく大事ではないかと思う。
・学校に行きづらくなる子どもも大勢いるだろうし、先生の負担もかなりあると感じる。
・先生が余裕を持ち、クリエイティブな授業や学校運営、クラス運営していくことを望む。



福祉教育委員会では、議案7件、請願2件、陳情2件を審査しました。

議案名や本会議での議決結果等 ↓ 2378

陳情第5号
市内児童・生徒の多
様な教育機会の確保
についての陳情

全員賛成
採択
すべきものと決定

陳情者への質疑

問 市内のフリースクール等民間施設の利用家庭に対する公的援助の公平性の考えは。子どもが社会的自立を目指す居場所であればどこでもいいと考える。

問 令和6年から長野県の公的補助制度が開始され、施設の月額利用料は安くなったのか。

答 私施設の料金は変わっていない。生活保護家庭よりも低い状態で10年がたつ。

教育委員会の見解

保護者の負担の救済を考えてきたが、補助対象や補助額の議論がなかなか進まなかった。多様性を考え、前向きに考えていく必要はある。

賛成の意見

矢澤 毅彦

学校に通うことが難しい子どもにとって、学校以外の居場所や学びの選択肢があることは大切であり、利用する保護者への支援は必要である。実態を把握し、一歩踏み出すべきである。

トピック

聞こえに不便はありませんか？
(新)補聴器購入補助金

対象者
・65歳以上の非課税世帯の市民
・耳鼻咽喉科医から必要と判断された人 など
・3万円まで
(・購入費の3分の2)

7月7日～受付
高齢者介護課へご相談を
購入前に申請書・見積書
などの提出が必要です。

議案第52号
令和7年度一般会計補
正予算
(福祉教育委員会所管事項)

全員賛成
可決
すべきものと決定

児童遊園の遊具の撤去と更新について

問 撤去・更新する遊具の割合と進め方は。

答 市内全児童遊園の全遊具342基のうち使用不可能と判定された162基を3段階に評価し、非常に危険な3分の1から撤去・更新する。

陳情第6号
児童クラブ利用にお
いて保護者の対象か
ら祖父母を削除する
ことを求める陳情

全員賛成
採択
すべきものと決定

賛成の意見

矢澤 毅彦

働く保護者を支え、子どもが安心して過ごせるために必要。市民の声を基に制度設計していく上でアンケート結果も広く共有すべきである。



報告事項

報告番号	件名	結果
3号	令和6年度安曇野市一般会計繰越明許費繰越計算書について	受理
4号	令和6年度安曇野市一般会計事故繰越し繰越計算書について	
5号	令和6年度安曇野市水道事業会計予算繰越計算書について	
6号	令和6年度安曇野市水道事業会計継続費繰越計算書について	
7号	令和6年度安曇野市下水道事業会計予算繰越計算書について	承認
8号	債権放棄の報告について（水道料金に係る債権）	
9号	専決処分の承認を求めることについて（安曇野市税条例の一部を改正する条例）	
10号	専決処分の承認を求めることについて（安曇野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	
11号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度安曇野市一般会計補正予算（専決第3号））	
12号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度安曇野市国民健康保険特別会計補正予算（専決第1号））	
13号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度安曇野市後期高齢者医療特別会計補正予算（専決第1号））	
14号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度安曇野市介護保険特別会計補正予算（専決第1号））	
15号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度安曇野市産業団地造成事業特別会計補正予算（専決第1号））	
16号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度安曇野市有明荘特別会計補正予算（専決第1号））	
17号	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度安曇野市一般会計補正予算（専決第1号））	受理
18号	地方自治法第180条の規定による専決処分の報告について（令和7年2月12日発生の看板落下事故に関すること）	



総務・政策・財政・環境

議案番号	件名	結果
52号	令和7年度安曇野市一般会計補正予算（第1号）	可決
55号	令和7年度穂高健康支援センター大規模改修工事請負契約について	
56号	令和7年度市営住宅柏原団地9～16号改修工事（I期）請負契約について	
57号	令和7年度安曇野市一般会計補正予算（第2号）	
58号	安曇野市消防団小型動力ポンプ付積載車の購入（令和8年度債務負担行為）に係る売買契約について	
59号	令和7年度安曇野市スマートフォン型多機能IP無線機購入に係る売買契約について	



産業・経済・観光・水道

議案番号	件名	結果
54号	市道の認定について	可決



請願・陳情

請願・陳情番号	件名	結果
請願1号	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の請願について	採択
請願2号	「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願書	
令和6年陳情8号	防犯カメラ設置に関する陳情書	審議未了
陳情1号	穂高地区における高層ホテルの計画変更及び地下水調査の陳情書	継続審査
陳情2号	安曇野市の適正な土地利用に関する条例、並びに景観条例等関連条例の見直しを求める陳情書	不採択
陳情3号	選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書の提出を要望する陳情書	採択
陳情4号	若者の議員報酬引き上げを求める陳情書	不採択
陳情5号	令和における安曇野市内義務教育課程児童・生徒の多様な教育機会の確保についての陳情書	採択
陳情6号	児童クラブ利用において保護者の対象から祖父母を削除することを求める陳情書	



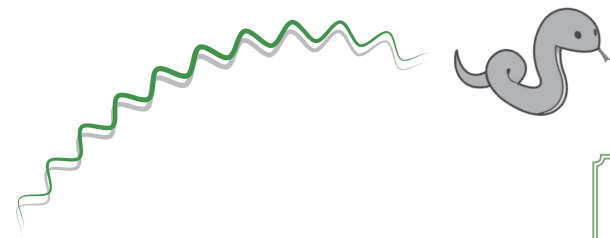
議員提出議案

提出番号	件名	結果
3号	物価高騰対策を求める意見書	否決
4号	選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書	
5号	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書	可決
6号	「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書	



健康・福祉・教育

議案番号	件名	結果
47号	安曇野市堀金総合福祉センター条例の一部を改正する条例	可決
48号	安曇野市明科総合福祉センター条例の一部を改正する条例	
49号	安曇野市保健センター条例の一部を改正する条例	
50号	安曇野市明科学習館条例の一部を改正する条例	
51号	安曇野市立認定こども園条例の一部を改正する条例	
53号	令和7年度安曇野市介護保険特別会計補正予算（第1号）	



オンラインによる常任委員会の録画配信が始まりました。各委員会ページの二次元コードからご覧いただけます。

経済建設

議案第52号
令和7年度一般会計
補正予算
（経済建設委員会所管事項）

全員賛成
可決
すべきものと決定

本陣等々力家について

問 屋敷内には長屋門、主屋、座敷、裏座敷のほかには5棟の蔵が残っている。このうち、長屋門が市有形文化財に、また庭園内にある樹齢約400年と伝わるビャクシンが市の天然記念物に指定されているが、事業提案において、これらをどのように活用する施策が盛り込まれているのか。

答

事業提案では、歴史的価値を最大限に活かすための保全計画が提案されている。建築物と庭園を一体的に保全し、主屋や蔵、庭園との調和を重視した修復を実施することが盛り込まれている。



本陣等々力家 再生・活用事業
本陣等々力家、安曇野の時をつなぐ——受け継ぐ伝統、新たな価値への扉

一部が市有形文化財に指定されている「本陣等々力家」について、官民連携での再生・活用事業が進められている。

トピック

三股登山口行きの路線バスを
運行開始！（7/19-10/13）

登山者増加に伴う駐車問題の解消と自家用車以外の移動手段確保のため、三股登山口行き路線バスを実証運行。利用は要予約です。



継続審査の申し出があり、審査の結果、再び継続審査となった。

答

ない。
事業者の建設計画を精査しないとわからない。

委員間の意見

市民不安の解消と事業者による透明な情報提供の必要性が共有されつつ、条例に沿った計画であるため、判断には慎重を期すべきとの意見が出た。

陳情第1号

穂高地区における高層
ホテルの計画変更及び
地下水調査の陳情

賛成多数
継続審査
すべきものと決定

陳情概要

穂高地域の28m超ホテル計画に対し、市民やワサビ農家から景観や地下水への影響を懸念する声があり、十分な説明と科学的調査を求める。

執行部側への質疑

問

環境基本条例により、事業者の環境保全責任が本件に適用されるか。

答

事業者の建設計画を精査しないとわからない。

反対の意見

宮下明博 一志信一郎
中村芳朗

市への政策提言として土地利用条例の緩和の見直しを求めている。また市内にある約29mの建物も景観を害しているとは思えないので賛成できない。

賛成の意見

増井裕壽 猪狩久美子

高さ制限は市庁舎の例などからも20m前後が妥当であり、見直しの基準とすべき。また、高層建築を控える地域意識は景観保全に貢献している。



経済建設委員会では、付託された議案2件、陳情1件、継続陳情1件を審査しました。議案名や本会議での議決結果等↓ 2・3・7・8

※各議員の二次元コードから質問の動画にリンクできます。ぜひご利用ください。(スマートフォン等でのご利用には通信料がかかります。)

カスハラ対策に退職警察官等登用

問 現代の深刻な社会問題の一つ。特に窓口業務での被害を想定し、危機管理能力に長けた退職警察官等を登用し庁内巡視体制を。また、一方的な対処のみならず、職員接



安曇野の象徴「屋敷林」
〔「安曇野の屋敷林」より〕

建設 屋敷林は個人の所有物であることなど課題が多い。支援の手法、仕組みを研究し、導入を検討。

屋敷林の保全と助成措置等

問 屋敷林が維持の限界でやむなく伐採されている。維持管理の助成等の創設は。

総務 現在は、県警から派遣されている2名と相談対応はしている。今後、その必要性を庁内で研究をしていく。現在の研修以外にも、外部研修にも積極的に参加して対応する。

問 遇技術の向上も要求される。研修等の対応は。



市長の再選出馬
決意と表明は



会派 あづみ野
大竹 啓正

問 市長のこれまでの市政運営に対する尽力に感謝する。安曇野の未来を見据えた施策で生活向上、地域経済回復等、地域活性化に取り組む姿勢は、多くの市民の信頼を得ている。さらに、この施策が継続され、長期的な視点で牽引されることを望む声が多い。一方で次期市長選が近づく中、統投を求める多くの市民から、再選出馬の早期決断を望む声が上がっている。早期表明を期待するが。

市長 様々な場所において出馬を促す声を受けていることは事実。仮に負託を受けた4年間で何ができるか過去を振り返り自問している。遅くとも7月中には態度を表明する。

商工 登山者用駐車場の空き状況をウェブサイトで公開し、駐車場の情報を知らせる。安曇野市地域公共交通協議会の事業で、穂高地域と三股登山口を連絡する新たな路線バス、三股線の実証運行を予定。自家用車以外の移動手段の確保に向けて取り組んでいる。マウンテンバイクコース駐車場の対応はできている。令和8年7月に開催される

問 安全安心な常念岳登山。登山道や避難小屋等が整備されているか。

商工 堀金登山案内人組合による登山道整備、避難小屋の前扉と窓の修繕を実施する。ガラ場から避難小屋まで、夏に登山道を案内する石ペンキの吹きつけを行う予定。

農林 林道烏川線は、定期的にパトロールをし、林道の維持工事等を実施。国営・県営公園、ほりでーゆー四季の郷、安曇野市マウンテンバイクコース等、駐車場の確保が必要。関係機関で話し合っているか。また登山希望者等が参加できる企画はあるか。



常念岳の烏川溪谷に世界の皆さんを招こう

市長 第39回全日本自転車競技選手権大会が令和8年7月に予定。令和10年にロサンゼルスで開催されるオリンピックのマウンテンバイク代表選考につながる国内最高峰のレース。関係機関や団体等と連携し、常念岳烏川溪谷等の良さを全国へ広くPRできるように進めていく。

問 常念岳烏川溪谷に全国の皆さんを招きましょう。抱負と展望は。

る全日本自転車競技選手権大会の駐車場は、近隣施設や地権者と協議し、確保していく予定。山岳観光に関する企画は、関係団体等と連携し検討していく。



会派 きぼう
一志 信一郎

常念岳麓の烏川溪谷に
世界の皆さんを招こう



全議案のうち賛否が分かれた議案等

				○：賛成 ×：反対 欠：欠席 除：除斥 退：退席 議：議長																					
議案等 番号	議員名	議決日	議決 結果	議席番号	1	2	3	4	5	6	8	10	11	12	13	14	15	16	18	19	20	21	22		
					矢澤 毅彦	中村 芳朗	大竹 啓正	増井 裕壽	岡村 典明	辻谷 洋一	臼井 泰彦	竹内 秀太郎	中村 今朝子	林 孝彦	井出 勝正	増田 望三郎	猪狩 久美子	内川 集雄	宮下 明博	一志 信一郎	平林 明	小林 純子	松枝 功		
陳 情 第2号	安曇野市の適正な土地利用に関する条例、並びに景観条例等関連条例の見直しを求める陳情書	6/27	不採択		×	×	×	○	×	×	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	議		
陳 情 第3号	選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書の提出を要望する陳情書	6/27	採 択		○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	議		
議員提出 第4号	選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書	6/27	原案 可決		○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	議		
議員提出 第3号	物価高騰 こうとう 対策を求める意見書	6/27	原案 否決		×	×	×	○	×	×	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	議		

議会中継にライブ字幕表示機能を追加

check!



本定例会より、インターネット上での本会議中継にライブ字幕表示機能が追加され、議場での発言が文字起こしされるようになりました。



こちらからご覧いただけます→





会派 さきがけ
辻谷 洋一

罪なき猿の猿害根絶と 猿追い払い隊の効果は



問 ニホンザルの実態と猿害の現状は。

農林 GPS発信機を装着した10群の頭数は、約300頭から400頭と推測。農産業被害のほかに、車のワイパーの破損、瓦を割られるなどの生活環境被害がある。

問 現状行われている対策や課題は。

農林 防止対策は電気柵、モンキードッグ、追い払い対策。捕獲対策は、猟友会へニホンザル1頭の捕獲につき1万円の補助。遠隔操作で扉を閉めることが可能な大型捕獲檻で、一斉捕獲を実施。追い払いの課題は、隊員がいなくなった夕方に猿が再び出没し、追い払い隊の出勤態勢についても検討が必要。

問 隊員の推移と、追い払いの効果は。

農林 当初63名、昨年度は91名、本年度は50名。GPSによるデータから、猿が山側に移動しており、有明群は、里に100%出没していたが、昨年末は、里に50%、山に50%で、追い払いの効果が表れている。

問 隊員の意見からも一度、職員も含め、隊員同士意見交換が必要では。

農林 年に2回全体会議を開き、隊員との意見交換を行い、意見を聞いている。今後、更に意見交換する場を設け見解を市・隊員で共有する。

問 捕獲体制と近年の捕獲実績は。

農林 猟友会へ有害鳥獣駆除業務を委託。令和5年度101頭、令和6年度は捕獲檻の一斉捕獲含め274頭。

問 市職員の専門職員の配置について。

農林 現状、専門職員配置の考えはない。被害住民との連携については。

農林 連携は現状、十分に図られていない。隊員と共有し連携に努める。

問 市としての猿害被害の支援策は。

農林 経済的な直接支援は行っていない。



会派 きぼう
竹内 秀太郎

なかなか進まない都市 計画道路の整備状況



問 合併前に計画し、市に移行した都市計画道路で、完成した路線と未着工の路線。また、着工したが未完成の路線について、その路線数と割合を伺う。また、合併後に新たに決定した都市計画道路についても、同様の状況について伺う。

建設 合併前に決定し、市に移行した都市計画道路は29路線あり、そのうち完成した路線は4路線で未着工路線は5路線。また、着工しているが未完成の路線は20路線。合併後、新たに決定した路線は1路線。市道豊科1級26号線は吉野地籍で255mの用地交渉が20年以上になる。いつ開通するのか。

建設 現在、市道豊科1級26号線と吉野線との交差点部分の工事を行っており、新田堰から南については、工程調整により予定が変更になり、令和8年度に道路敷内に上下水道管の布設を行い、舗装工事を行う。全線供用開始は令和9年度を予定している。

問 都市計画道路の整備が遅れている

主な原因は、用地交渉の遅れだと思うが、その原因と交渉体制の改善策について伺う。

建設 用地交渉が難航する原因は、道路事業の必要性について理解が得られない。用地補償費が地権者の意向に合わない。契約後の物件移転の期間が敬遠される。この3点が主な要因。交渉体制については、合併時は用地担当職員を配置せずに、工事と用地の両方を担当していた。その後工事事務と用地事務を分業することにより、一定の成果が表れている。



1 級 26 号線の吉野線と交差付近の工事現場



会派 あづみ野
中村 今朝子

少子化対策と 子育て支援の拡充



問 令和4年4月から体外受精等の基

保健 本治療はすべて保険適応となり、経済的負担が軽減した。本市における不妊治療の申請数や妊娠に繋がった状況を伺う。

保健 令和6年度は71名で、延べ85件の申請があった。そのうち47名が妊娠につながった。

問 市内の分娩医療機関において、体外受精を行えるよう施設整備を進め、併せて無痛分娩についても検討したいと聞いている。身近な医療機関で受診がしやすくなり、子どもを持ちたいと考えている方の支えになると思う。不妊治療や無痛分娩の取り組み、それを行う医療機関についての見解を伺う。

市長 市内の身近な医療機関で不妊治療や無痛分娩の対応ができると、市民の選択肢が増え有益であると考え

問 何ができるか前向きに検討する。産後の職場復帰が早くなっている。安心して搾乳できる場所や周囲の理解が課題。授乳室でも搾乳しや

農林

財源として、森林環境譲与税の活用も可能なので、関係する木工作家の意見も取り入れ、実現に向けて進めていく。



問 第一次安曇野市教育振興計画に、いじめや不登校の実態と分析はどのように反映されたのか、対応は。

教部 いじめにはからかう言動や暴言が多い。不登校の要因には教員や友人との人間関係や学習への不安がある。子どもの声を見逃さず受け止め、本人の最善を共に考え支援する。本人や家庭が孤立しないよう努め、子ども自身が学びを選択し、社会的自立に向かう力を養う。

問 いじめ・不登校の大きな原因は、国連子ども権利委員会が指摘する「過度な競争教育制度」とりわけ全国学力一斉テストにあるのではない

教長 過度な競争環境が子どもに否定的な環境を与えているという危惧は、真摯に受け止める。全国学力・学習状況調査は教員自身の指導方法の改善や子どもの学習状況・生活実態把握に有益だ。不登校の子どもたちの個別最適な学びに努め、多様な価値観を認める社会にどうしたら自立した生き方ができるか

市長 開山事業には大賛成だ。現時点で広域の動きはない。汗をかいて安曇野市がやるという思いはある。

問 播隆上人と中田又重の二像を建立し、開山の偉業を伝える事業は。

市長 開山事業には大賛成だ。現時点で広域の動きはない。汗をかいて安曇野市がやるという思いはある。

問 播隆上人と中田又重の二像を建立し、開山の偉業を伝える事業は。

市長 開山事業には大賛成だ。現時点で広域の動きはない。汗をかいて安曇野市がやるという思いはある。

問 播隆上人と中田又重の二像を建立し、開山の偉業を伝える事業は。

市長 開山事業には大賛成だ。現時点で広域の動きはない。汗をかいて安曇野市がやるという思いはある。

問 播隆上人と中田又重の二像を建立し、開山の偉業を伝える事業は。

市長 開山事業には大賛成だ。現時点で広域の動きはない。汗をかいて安曇野市がやるという思いはある。

問 播隆上人と中田又重の二像を建立し、開山の偉業を伝える事業は。

市長 開山事業には大賛成だ。現時点で広域の動きはない。汗をかいて安曇野市がやるという思いはある。



播隆上人の書と鈴（中田家蔵）



会派 きぼう
岡村 典明

子ども食堂の現状と 今後について



問 子ども食堂の現状は。

福祉 令和5年度は3団体、令和6年度は7団体、令和7年度は9団体、徐々に増えている。食事を提供している実施の日数は、令和5年度は年間で4日、令和6年度は年間で33日、令和7年度の実施予定は年間で67日、確実に増えている。

問 補助対象経費、補助金の額および申請方法は。

福祉 開設補助経費として上限額が20万円、運営補助経費として、1年あたり上限額50万円を補助する制度がある。事業実施前に補助金の交付申請が必要となる。

問 子ども食堂団体数、なぜ増えないのか。

福祉 運営するにあたり、食材の確保、協力して頂ける方の確保、会場の確保、広報活動など、大きなエネルギーが必要となっている。

問 フードパントリーの考えは。

福祉 定期的な食料支援を必要としている家庭があると認識している。物価高騰が続く中、生活困窮者への



子ども食堂 お楽しみ会 風景

問 上川手地域の現状を把握して、10年後を見ているのだろうか。農業を基盤とする人たち、耕作者113人、そのうち50代以下が3人、上川手地域の農業に心から懸念を抱くが。

農林 地域農業の課題や将来のあり方について協議、検討をしている。地域にある全ての課題を網羅したとは言いがたい、農業者と共に、この地域計画、随時見直しをする。10年後を見据えた実効性のあるよりよい計画とする。

問 光地域には、水利のない農地（昔水田を作っていた面影がある農地はいくつもある）は10年後どのような形になっているのか。

農林 水利のない農地は、農業生産の安定性が低く、耕作放棄のリスクが高い。農地も地域の農業資源の一部であり、農地としての機能を維持していくことは、景観保全や多面的機能の維持等の観点から重要である。水利に頼らない転作作物の作付け支援や、直接支払制度、



地域農業の10年後が心配



会派 クレール
内川 集雄

危惧する上川手地域の 農業の10年後は



を活用し農地としての保全を進める。

問 光地域の水利のない農地を整備して、節水型乾田式直まき栽培、この稲作を実証実験してはどうかと提案する。

農林 提案の節水型乾田式直まき栽培は、水源に制約がある地域では有用であり、省力化が図られる。先行事例を参考にしながら、地域の実情に合わせて、農業再生協議会による検証を検討していく。



会派 さきがけ
矢澤 毅彦

住宅用火災警報器、 設置・点検してますか？



問 火災による死者を4割以上減らす効果があるとされる住宅用火災警報器は、設置義務化された重要な装置。市内における令和6年1月1日現在の設置率は78・6%で、うち条例で義務づけられた全設置が56・3%、一部設置が22・3%、未設置が21・4%。維持管理の状況には、作動確認済みが18・6%、未確認が74・1%、不明が7・4%とのことだが、市の認識は。

危機 全国平均（84・5%）や県内平均（81・4%）と比べても、本市の設置率は低い状況。住宅火災による死者の減少に効果があることから、設置率の向上が重要であると認識している。

問 機器の点検、交換を強く呼びかける広報の強化はできないか。

危機 部品の劣化や電池切れなどにより正常に作動しない可能性があるため、設置後約10年での交換が推奨されている。定期的な点検や交換についての広報活動を、松本広域消防局と連携していく。

南豊科駅周辺の安全整備を

問 JR大糸線の南豊科駅の乗降スペース整備、安全対策も課題と認識している。高校通学の主要駅という役割からも、利便性、安全性の面から、今後の整備を望むが、市の現状認識と今後の対応予定は。

建設 車両を駐停車するためのスペースが限られるため、送迎に苦慮している状況を把握している。歩行者安全確保の観点から、対策が必要であると考えており、近隣の用地活用も含めて、どのような対応が可能かを研究していく。



会派 さきがけ
中村 芳朗

SDGsの取り組みと 三郷地域畜産悪臭対策



問 内閣府から2024年度SDGs未来都市に選定された。今後の取り組みについて伺う。

市長 令和6年の国の選定を受け、11月には安曇野市SDGs未来都市計画を策定した。いくつかの取り組みを掲げ2030年のあるべき姿を示している。地域における自律的好循環の形成が見込め特に先導的な事業として、里山再生活動「さとぶろ」の活動がモデル事業に選定され、行政だけでなく事業に関わる皆さんの取り組みが評価されたことは大変うれしく思う。その他にも食器のリサイクルのボランティア活動や、生物多様性の観点から希少野生動植物の保護などを続けている皆さんがいる。今後こういった方々との連携を深めながら、市民、団体、事業者等と一緒に、多種多様な取り組みを行い、SDGsの達成に向けた事業を推進し、安曇野市のあるべき姿「自然・文化・産業が織りなす 共生の街安曇野」を目指していく。

問 三郷地域の畜産悪臭について、市民からの苦情等の状況を伺う。

生活 前年度と比較し苦情等の件数は、横ばいだが、引き続き監視等を行い悪臭軽減に取り組んでいく。

問 新たな対策組織を立ち上げたとか聞かされた内容を伺う。

農林 5月に悪臭対策協議会の中に「対策専門部会」を設立した。学識経験者として、大学教授にも参画をお願いし、具体的に実効性のある対策を講じていきたい。

【その他の質問事項】
○通学路設定の考え方と一日市場地籍、県道通学路への歩道設置

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

SDGs 公式ロゴマーク



日本共産党
安曇野市議員
猪狩 久美子

物価高騰対策について



毎月多くの品目の値上げが続いている。次のような施策で市民の負担を軽減することはできないか。

新型コロナウイルス感染症対策では、水道料の基本料金1期分を減免した。同様の支援ができないか。

今回は、国の重点支援地方交付金がかかる事業に活用され、ほかの財源確保の見込みもないため、減免の予定はない。

国保税を値上げせず、据え置くことはできないか。

ここ数年、基金を取り崩して税率を維持している。決算状況を見て検討する。

学校給食の無償化の検討は。

まずは小学校の給食費の無償化を、令和8年以降制度化を目指す。国会での首相答弁がある。国の動向を注視している。

飼料・肥料に対する支援は。

配合飼料価格安定制度への積立金の3分の1を支援している。肥料については、国や県の動向を注視し、特定財源が確保された場合は

対応していきたい。

市営住宅の入居要件について



国土交通省は「公営住宅管理標準条例（案）」を示し、入居手続きの際、保証人を免除する場合について規定した。長野県も保証人を外している。市はなぜ外さないのか。

保証人がいない場合、死亡等による退去後の残置物処分や原状回復の問題等が生じ、時間と労力を要する。そうすると長期に募集できないことで、住宅に困っている方々への入居の対応が遅れてしまう。



リノベーションが終了した市営穂高団地



日本共産党
安曇野市議員
臼井 泰彦

生産者米価の保障と消費者米価の安定へ



米価高騰は、需給ギリギリの減反押しつけによる米不足と米価を市場任せにしてきたことが原因だ。米どころ安曇野でも担い手の急減、高齢化、後継者への経営移譲がでない状況だ。今政治がやるべきは、農業者への価格保証、所得補償と消費者が納得する米価の提供、義務のない無関税のミニマム・アフセス米の輸入中止だ。見解は。

米価高騰の要因は様々だ。米作りは市農業の根幹。市では国の方針を注視し、米の経営安定策や生産者と消費者双方が納得のできる米の価格形成を求めている。

市でも今後遊休農地が増えてくる。農業農村と景観の危機ではないか。農業を取り巻く情勢は厳しい。担い手農家への負担が増えないよう、新たな担い手の確保と育成に向けた支援体制の強化が急務である。

危機回避のための第3次安曇野市農業・農村振興基本計画に基づいた対策とその効果、課題は。

担い手の確保、育成に向け国・県

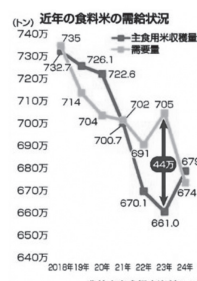
等の補助を最大限活用し支援している。新規就農者がこの3年間で30人となっている。「安曇野米」の名目を出すのは難しいと聞く。

保育・幼児教育の充実に向けて

①2020年度②2025年度の市立認定こども園と幼稚園の正規職員と会計年度任用職員のフラス担任の人数は。会計年度の正規化と賃上げ、配置基準の引上げをすべきでは。

教部 正規①71人②65人。会計年度①135人②163人。

総務 引上げは現時点で現実的ではない。



需要量 705 万 t。
収穫量は 44 万 t 不足だった。



無所属
増田 望三郎

選択と集中が問われる 安曇野市政



市は有利な合併特例債を活用して多くの公共施設を整備してきた。市の公共施設の延床面積を3分の2にまで減らす公共施設再配置計画は予定通りの進捗か。

60年間で約3割を減少させる計画であるが、当初10年間で約3割達成できており面積上では順調と言える。個別の施設ごとに見ると想定通りに進んでいない施設もある。

今後、益々財政的な制約が予想される中で、ハード事業だけでなく福祉や子育て、文化などのソフト事業にも大きく影響するのでは。

総務 財政計画ではソフト事業も現行のサービス水準を落とすことなく、福祉施策や子育て施策など各種施策を計上している。子育てに係る経済的支援は人口増加にもつながる。今後も子育て施策を中心にソフト事業にも力を入れる。

市の歳入を増やすための具体的な戦略や取り組みは。

総務 1つはふるさと寄附。2つ目は企業誘致。新たな産業団地で、さら



合併から 20 周年
安曇野市も次のステージに

なる企業誘致を図り市内経済の活性化など、好循環につなげていく。

財政的観点からの市民へのメッセージを。

市長 実質公債費比率、財政力指数を見ると市の財政は極めて健全。税収など自主財源の伸びが期待しづらい一方、社会保障関連経費や公共施設の維持更新費用といった歳出は今後着実に増加していく。新たな産業団地や松糸道路も開通する。市内の経済の好循環につなげられるよう全体の事業と財政のバランスを鑑みながら必要なところには積極的に投資していく。



会派 クレール
林 孝彦

子ども・子育て支援の強化を



支援の強化の目標と取り組みは。

市長 子育て支援政策を進めていきたい。

教長 幸福な生活を送れることを目指す。

子ども計画、子ども・子育て支援事業計画、教育振興基本計画は。

教部 各計画に沿って教育行政を進める。児童クラブと分室での受け入れ拡大と祖父母がいる場合も対象化を。

教部 令和8年度から通学区だけでなく同居要件も含め緩和。余裕ある小学校は冬休みに祖父母要件を緩和。

福祉 放課後等デイサービスなど障がい児福祉サービス利用が伸びている。

問 児童遊園や公園の遊具の適切な管理とインクルーシブ遊具の設置を。

教部 更新、撤去を順次進めていく。

建設 インクルーシブ遊具へ更新をする。

問 障がい児通所支援の強化を。

福祉 サービス提供の充実を図っていく。

問 医療的ケア児への支援の強化を。

福祉 支援体制強化の取り組みを継続。

福祉 サービス提供体制とバنداナ配付。

問 手話言語条例の策定を見据えた聴覚障がい者への支援内容の充実を。

福祉 手話言語の意識を高めるよう啓発。

問 福祉医療費給付事業の向上と精神障がい者の入院補助を。

福祉 精神科入院を除く入院を対象化へ。

高齢者支援の強化を

問 支援の強化の目標と取り組みは。

市長 高齢者補聴器購入補助と相談強化。

福祉 令和7年7月から補聴器購入補助。

問 フレイル予防、サロン活動、学びの場、豊科老人福祉センター等は。

福祉 充実努め、センターは継続協議。



インクルーシブ遊具
(豊科南部総合公園内)



会派 クレール
増井 裕壽

この街が好きだから 10月1日は安曇野の日



問 市民の郷土愛を育み、安曇野の魅力を発信するために、10月1日を「安曇野の日」として正式に制定してはどうか。理由として10月1日は、平成17年に3町2村が合併をし、安曇野市が誕生した記念すべき日である。また、すでに認定

自転車等の放置防止について

問 本市において、現時点では自転車等の放置に関する条例が存在しない。そこで、今後の自転車利用の増加や観光振興の進展を見据えたときに、地域の景観を保全、公共の場所としての機能を維持していくためには、明確なルールを定めた条例の制定が必要ではないか。

生活

放置自転車は各施設の担当部が対応しており、ルールが曖昧なため条例制定をする。市民の意識向上を高め、措置内容を定め、関係部局と協議を進めていく。



錆びし輪に 夕陽も黙る 駅の影

市長

今後、市民の皆さんの機運が高まり、多くの皆さんから要望等があれば、他の市の事例も参考にしながら検討したいと思うが、現時点では、すぐに10月1日を「安曇野の日」として制定する予定はない。

問 被生活保護者（生活保護の受給を認められた人）の減少率が、この10年で40%を超えた自治体は、安曇野市を含む全国9府県の12市区のみである。被保護者の減少を、どう評価しているか。

福祉

安曇野市に合併し、市の福祉事務所として生活保護業務に当たるようになって間もない頃、リーマンショックの影響で被保護者が急増。CW（ケースワーカー）がその対応に追われるなか、平成24年度の厚労省監査で「早急な事務改善が必要」と指摘されたため、CWのスキルアップと生活保護業務の質の向上に傾注。適切な生活保護業務のノウハウや相談支援のスキルを身につけたことで、生活保護への支援だけでなく、保護から自立への支援にも繋がった。

福祉

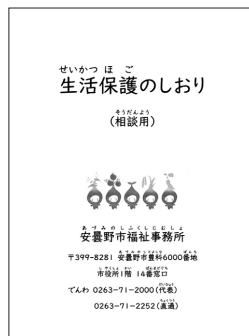
生活保護不正受給事件が終結した令和2年は、不正受給を見逃したことのプレッシャーで、それ以降生活保護申請の審査が厳しくなったというのではない。

福祉

本市では現在、CW1人が受け持つ件数は60件で、厚労省の基準80件以内であり適切な数である。

福祉

数だけの問題ではないのでは。相談には生活保護のしおりを用いて、丁寧な説明を行っている。



生活保護のしおりは市ホームページにあります



無所属
小林 純子

生活保護が減っている 制度運用は適正か



福祉 審査が厳しくなった認識はない。

福祉

リーマンショック後の被保護者の急増に対応して、CW1名を増員したが、現在も人員体制は万全ではない。そのため、日々の業務に追われ、経験の蓄積やスキルの習得が追いつかない環境の中で、助けを必要とする人に支援が届かないということが起きていないか。

総務環境委員会視察報告

日程 令和7年5月12日（月）～5月13日（火）

視察先 ①愛知県みよし市役所 ②大阪府箕面市役所

内容 令和6年12月議会に提出された「防犯カメラ設置に関する陳情書」を契機にして、防犯カメラ設置の効果やプライバシー保護の配慮等政策提言に活かすために、先進地の取り組みを伺い質疑応答をした。

考察 【みよし市】安全で安心して生活できる地域社会の実現を目的に、防犯カメラの設置条例を制定。また、設置費補助金制度を定めて、25の行政区のほか個人をも対象としている。各種防犯活動も実施して市民の防犯意識を高めている。

【箕面市】市立小中学校の通学路に防犯カメラ750台設置した結果、不審者情報や盗難が大幅に減少したことから、公園や通学路以外の安全性向上に取り組み、自治会の防犯カメラ設置補助制度を施行した。

●以上2市の事例を政策提言の参考にしたい。



愛知県みよし市役所にて



大阪府箕面市役所にて

経済建設委員会意見交換会報告

日程 令和7年6月17日（火）

相手先 信州わさび農業協同組合

内容 信州わさび農業協同組合は、高層ホテル建設に伴う杭打ち工法が地下水脈を遮断し、わさび栽培に深刻な影響をおよぼす可能性を懸念。組合は杭を打たないことが明確であれば建設には反対しない姿勢を示し、工法の説明と科学的データの開示を求めた。

考察 安曇野の地下水とわさび栽培は密接に結びついており、地下水への影響は農業のみならず、景観や観光にも広く波及する。こうした水環境への懸念に対する組合の声は、地域実情に根ざした説得力のある意見として受け止めるべきである。市と議会、施業者からの説明や調査結果を確認のうえ、今後の陳情審査の重要な参考とし、地域との調和を意識した慎重な対応が求められる。



大規模営農若手農業者との意見交換会



大規模営農若手農業者の皆さんと

日程 令和7年4月1日（火）

相手先 大規模営農若手農業者

内容 政策提言に向けて大規模営農若手農業者との意見交換会を開催し、安曇野の農業の現状や課題について、一人ひとり意見と農業への取り組みなど、具体的な要望や提案をもらい委員との質疑応答。

考察 労働力不足、高齢化、後継者問題、経営安定化、環境保全型農業への取り組みなどの意見を真摯に受け止め、安曇野の農業の持続的な発展に若手農業者の声を市政に反映させ、安曇野を織りなす景色を守るために改めて農業のあり方について考える機会となった。未来型農業への幾多の問題を解決すべき変革を求め、異業種との連携も含め活力ある持続可能な安曇野の農業の実現に向けて取り組んでいく。

安曇野市 子どもの権利に関する

市民説明会を開催しました。

福祉教育委員会では、現在「(仮称) 安曇野市子どもの権利条例」の制定に向けた検討を進めています。この一環として、5月25日(日曜日)午後2時から、市役所大会議室にて、「(仮称) 安曇野市子どもの権利条例制定に向けた市民説明会」を開催させていただきました。当日は52名(うち子ども13名)の皆さんにご参加いただきました。ご多用のところ、誠にありがとうございました。

まず条例案のポイントを紹介し、その後は「大人グループ」と「子どもグループ」に分かれて意見交換。福祉教育委員のほか、他の市議会議員も同席し、寄せられた声にじっくり耳を傾けました。

進行には市民グループ「安曇野ファシリテーション部」の皆さんにご協力いただき、多様な立場の声が活発に交わされる場となりました。

いただいたご意見とパブリックコメントを踏まえ、条例案にさらに磨きをかけてまいります。



◆ 大人グループで出された主なご質問 ◆

(会場では回答していますが、紙面の都合上、ご質問のみ(一部抜粋)の掲載です。ご了承ください。)

- この条例に関し、行政側とのつながりはどうなっているのか。
- そもそもなぜこの条例を作るのか。どういう問題意識なのか。
- 理念だけでなく、いじめや不登校も何%減らそうという目標があった方がいい。
- 第6条(5)「子どもが主体的に意見を述べて～」のところ、子どもの意見形成について、「意見形成の支援をすること」、「市はそれを尊重すること」というような言葉を入れてはどうか。意見が自分でもわからない子どももいるため。
- オンブズパーソン制度は子どもの権利条例の根幹をなす制度。これがないと空文化する。条例にそれがないとどうやって保障するのか。
- 川崎市など先進地では、子どもたちはどのように勉強しているのか。理念が根付いていっているのか。
- 市の教育委員がその気にならないと実効性は担保されないのではないか。教育委員に意識を持つよう働きかけをして頂きたい。



また、ご意見として「理念の啓発はなかなか進まない。市民も議員や行政に任せるだけでなく、市民である自分たちもこの権利の理念を浸透する場を作って行けばいいのではないか。」とお言葉もいただきました。



「安曇野ファシリテーション部」による進行 子どもグループのまとめ発表。参加してくれた子どもたちは、何を思ったのかな？

大人グループは半円状になって意見交換をしました

◆ 子どもグループで出された主なご意見 ◆

(紙面の都合上、一部抜粋の掲載です。ご了承ください。)

- 子どもにとっての権利は、人間として尊重されること、自由に意見が言えること。
- 子どもが成長するために、大人が支えることも権利だ。
- 言いたくないことを認めてほしい。
- 条約では、大人は何を子どもに求めているのか分からない。
- この条例は、今を維持するものか。今後何ができるのか。

条例制定の目的

この条例は、安曇野市における子どもの権利の基本理念を定め、子ども、市、市民および議会それぞれの役割を明らかにし、子どもが一人の人間として尊重され、心身ともに健やかで幸せな状態で生活を送るために、お互いが連携および協働することにより、子どもの権利が保障されるまちを実現するために制定するものです。

★ これまでの経緯 ★

令和6年

- 7月、市内小中学校、高校への意識調査アンケートを実施
- ・教育長および市教育委員会(教育部)との懇談
- ・視察：佐久市議会、松本市、松本児童相談所、神奈川県鎌倉市、川崎市、川崎市こども夢パーク
- ・意見交換会：豊科高校、穂高商業高校、児童館職員、市PTA連合会、校長会

令和7年

- ・本件に精通している森本遼弁護士を講師とした議員研修会の開催
- ・政策討論会を2回実施
- ・市教育委員会および教育委員との意見交換会
- ・市民説明会
- ・市長を含む行政理事者側への説明懇談会
- ・6月12日～7月11日 パブリックコメントを実施

子どもの権利条例について、福祉教育委員会では、協議会をこれまで27回開催し、議論を重ねてきました。
(令和6年1月18日から令和7年6月末までの間)

案をまとめ、令和7年9月議会に上程予定です!!

「(仮称) 安曇野市子どもの権利条例」

※市民説明会、パブリックコメントは、この条立て(目次)で説明・実施をさせていただきました。

前文

- 第1条 目的
- 第2条 定義
- 第3条 基本理念
- 第4条 子どもの権利の日
- 第5条 子どもの役割
- 第6条 市の役割
- 第7条 市民の役割
- 第8条 議会の役割
- 第9条 委任

ハラスメント条例制定へ（経過報告）

議会運営委員会

安曇野市議会において、ハラスメント防止に対する研修会を毎年開催してきました。その中で令和5年度よりハラスメント防止に関する条例制定が必要との機運が高まり、条例制定に向けた議論が開始されました。

令和6年12月から令和7年3月までは、浅川清実弁護士にお越しいただき、アドバイスをいただきながら、条例制定に向けた会議を重ねてきました。

条例名称を「安曇野市議会ハラスメント防止条例（案）」として、議員間と議員から職員に対してのハラスメントについて適用するものとし、全16条からなる条例案を作成しました。

現在は、条例の施行規程の内容について策定中です。9月定例会に上程予定で、議決されますと公布の日から施行されます。



条例の制定に向けたオンライン研修



ハラスメントについての研修

先例の見直しへ（経過報告）

議会改革推進委員会

議員平等の原則に基づき、会派に属さない無所属議員も同等の扱いに！

令和5年9月定例会に市民グループから出された陳情「議員平等の原則に基づく安曇野市議会の運営と議会内人事の平等を求める陳情書」を令和5年12月定例会において全員賛成で採択しました。この採択を契機に議会改革推進委員会において議論を重ねてきました。この度、先例が見直され、委員会等の人事が改変されます。

大きな変更点は、これまで会派に属していない無所属議員は、議会広報特別委員会、議会改革推進委員会、一部事務組合議会には参加できませんでしたが、無所属議員であっても参加できるようになりました。これは議会を構成する議員は、性別、年齢、社会的地位、議員の経験年数などに関係なく対等であることという議員平等の原則に基づくものです。なお、新たな人事については10月改選後の第6期議会からとなります。



令和5年10月に行われた議会と市民の意見交換会

家族にひとこと！



地域のためと、50年近く飛びまわり、今は妻と二人。そろそろ孝行の頃との思いあり。
(議長 松枝 功)

本来議会だよりは議会であったことをお伝えしますが、議会だよりモニターさんから「普段議員がどんなことを考えているのか知りたい」などのご意見もあり、『議員の人柄を少しでも知ってもらおう！』と企画しました。



この22年間、散らかり放題の私の部屋を敬意の念で見られてありがとう
(副議長 小林 純子)



外では多弁、家では無口で家族と会話少なく感謝の気持ちも伝えられない大黒柱である。
(平林 明)



いつも笑顔で送り・出迎えてくれて本当にありがとうございます。
(一志 信一郎)



常に市民福祉向上の為に議員活動ができるのは家族の協力あってこそ！いつもありがとう
(宮下 明博)



議員の代りは幾らでもいる。お父さんの代りはいない。照れるが「ありがとう」と贈る。
(内川 集雄)



快く送り出してくれ、楽しい会話で気持ちもリラックス。美味しい野菜ありがとう
(猪狩 久美子)



妻へ 僕を僕らしく生かしてくれてありがとう。貴女を貴女らしく生かしますように。
(増田 望三郎)



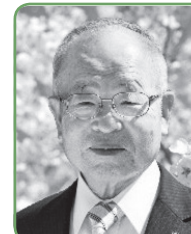
議員活動は家族の支えのお陰です。草が伸びても文句も言わず、感謝以外にありません。
(井出 勝正)



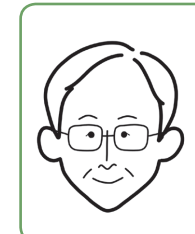
健康で元気でいてほしい。好きなことや夢に向かって進んでいこう。ありがとう。
(林 孝彦)



家事の手抜きをしても、全てを包み込んで応援してくれる皆に感謝！いつもありがとう！
(中村 今朝子)



毎日感謝しています。議員になり毎年おこなっていた旅行が出来なくなりごめんなさい。
(竹内 秀太郎)



とらやが魅力の「男はつらいよ」。テレビでなく、またみんな劇場で大笑いしたいね。
(臼井 泰彦)



健康で笑顔あふれる日々が続きますように。
(辻谷 洋一)



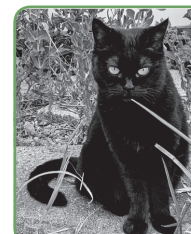
いつも家族がいてくれることに感謝し、これからも温もりと健康を大切に過ごします。
(岡村 典明)



産んでくれて、育ててくれて、ご飯を作ってくれて、生まれてきてくれてありがとう！
(増井 裕壽)



今更、これを言葉にするは照れ臭い限り、最高に苦手『帰る所があることは有難い』。
(大竹 啓正)



黒猫のクーちゃん、妻と私とクーが我が家の家族です。二人に何時も癒しをありがとう。
(中村 芳朗)



「かわいいは正義」って本当でした。娘の笑顔にやられています。妻には深く感謝。
(矢澤 毅彦)

政務活動費収支報告

令和6年度 政務活動費の実績内訳表

(単位：円)

会派名	所属議員数	交付額	決算額	支出内容				返金額
				調査研究	研修	資料作成 資料購入	広報広聴等	
日本共産党 安曇野市議団	3	360,000	340,215		34,400	13,450	292,365	19,785
会派 あづみ野	4	480,000	480,000	300,530	175,420	4,050		0
会派 さきがけ	4	480,000	265,875	257,084		8,791		214,125
無所属の会	4	480,000	401,389	26,740	187,230	52,539	134,880	78,611
会派 きぼう	3	360,000	360,000	56,906	141,709	4,690	156,695	0
小林 純子	1	120,000	120,000	910	13,000	40,350	65,740	0
内川 集雄	1	120,000	120,000	89,270	12,280	18,450		0
合 計	20 人	2,400,000	2,087,479	731,440	564,039	142,320	649,680	312,521

議員の調査研究や研修等のために必要な経費の一部として、会派または個人に対し、議員一人当たり年額 12 万円の政務活動費が交付されます。

表中の「広報広聴等」には、会議、要請・陳情活動等に要した費用が含まれています。

政務活動費の収支報告書および領収書等については、議会ホームページで公表しています。
また、議会事務局でも閲覧できます。

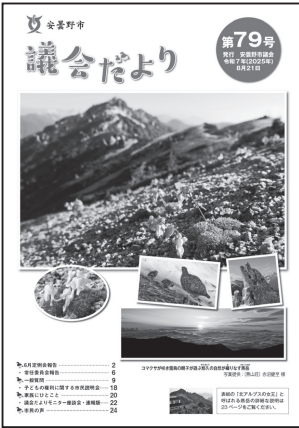


議会ホームページへ

表紙について

中学校登山で初めて登った「燕岳（つばくろだけ、2,763m）」

安曇野市には初心者でも登山が楽しめる「北アルプスの女王」と呼ばれる燕岳がある。白い砂と緑のハイマツが織りなす景観、高山植物の女王と言われるコマクサを始めとしたお花畑、雷鳥の親子が遊び、白い花崗岩の巨岩が印象的なイルカ岩（イルカに似た形の岩）やメガネ岩など趣のある不思議な形をした自然の造形美を楽しむことができる。



議会だよりモニター座談会・速報版

令和7年7月5日（土）午前10時より
市役所本庁舎にて開催しました。

以下のテーマについて参加者全員で話し合いました！

議会だよりのカラー化について ～これからの議会だよりは～



活発な意見交換が行われた座談会の様子



和やかな雰囲気の中にも真剣なまなざし



カラー化について話し合う参加者たち



市民目線の声に、委員も真剣に耳を傾ける

第12回 議会報告会・速報

令和7年7月19日（土）午後6時より
市役所本庁舎にて開催しました。

主な内容はこちら

令和6年7月から令和7年
6月までの議会報告

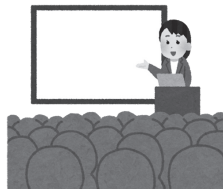
ハラスメント条例（仮称）

子どもの権利条例

第12回 安曇野市議会報告会

主催：安曇野市議会

令和7年7月19日



市民の The Voice 声



種山 真由美さん
(穂高)

故きを温ねて新しきを知る

ここ数ヶ月、

休日の予定といえば雑草の除去でした。相手は野生化して水路に広がったクレソン（オランダガラシ）と、特定外来生物のオオカワヂシャです。

もともとの

きっかけは、移住先のマレーシアで始めたビーチクリーン活動です。地元に戻ってからは、街や川のごみ拾いをするようになりました。万水川では地域柄なのか、マルチや肥料袋など農業由来のごみが目立ちました。

改めて

安曇野の自然の美しさに気づかされたのは帰国後です。特に、自宅の裏を流れる湧き水の川は、ガラスのように澄みきっていて、思わず息をのむほどです。この清らかな流れを取り戻したい一心で、ひとり胴長で川に入り、作業を始めました。

毎週のように

続けていると、ご近所の方々が声をかけてくださるようになりました。かつてこの川で鯉を飼っていたこと、川遊びで冷えた体を道路

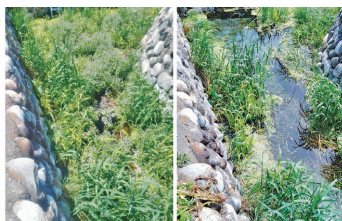
に寝転がって温めたことなど、思い出話に花が咲きました。

ある日、

山葵農家の方がこう話してくださいました。「昔はもっと水量が多くて流れも速かったから、草なんか生えなかったんだよね。」その言葉のとおり、20年前には子どもたちが飛び込んで遊んでいた川の水位は、今では何分の一にも減ってしまっています。

この水を

漕らすのも生かすのも私たちが次第なのだと思います。最近、「あづみの水結（みずゆい）」という水に関わる制度に登録をしました。川や水に関心をもち、取り組んでいる市議会議員の方もいらつやいます。立場や世代を超えて、地域の人みなで安曇野の水を守っていただくと、心から願っています。



オオカワヂシャの除去前後、車屋堰にて

議会からのお知らせ

公職選挙法に基づき、議員の寄附の禁止を徹底します

地域行事、祭りなどへの寄附や差し入れ、開店祝いや葬儀の花輪、病氣見舞い（親族以外）、中元、歳暮、入学・卒業祝い、代理出席の場合の結婚祝い・香典など、議員が寄附することは禁止です。

『寄附 しない、させない、求めない』

市議会9月定例会のお知らせ（予定）

議会を聴きに行こう！議会を「あづみ野テレビ」・議会ホームページ「インターネット中継」で見よう！

傍聴希望の方は、市議会議場（市役所本庁舎3階）へお越しください。お子さまと一緒に傍聴いただけます。

日	月	火	水	木	金	土
		8/19 議会運営委員会	20 全員協議会	21	22	23
24	25	26 本会議（開会日）	27 全員協議会（決算説明）	28 全員協議会（決算説明）	29	30
31	9/1	2	3 本会議（一般質問）	4 本会議（一般質問）	5 本会議（一般質問）	6
7	8 本会議（委員会付託）	9 常任委員会（総務環境）	10 常任委員会（福祉教育）	11 常任委員会（経済建設）	12	13
14	15 (敬老の日)	16	17 議会運営委員会・全員協議会	18 本会議（開会日）	19	20

請願・陳情は随時受け付けています。定例会ごとの締め切りは、開会日の原則10日前です。開会時間は本会議10:00～・常任委員会9:00～です。日程や開会時間など変更となる場合があります。

すぐだせ！議会だより

私事ではございますが、昨年生まれた娘も、もうすぐ1歳になります。育児を通じて「かわいいは正義」という言葉を実感する毎日です。

娘の笑顔に癒されながらも、家事と育児、そして仕事に奮闘する妻には感謝しかありません。私の頼りない育児も含めて、家族の支えがあるからこそ、議員としての責任を胸に日々活動に取り組んでいます。

今号には、『家族にひとこと』というコーナーが設けられました。他自治体の議会だよりでも見られるような、議員紹介の一端です。SNSや直接の交流だけでなく、議会だよりを通じて日常の一面に触れていただくことで、議会や議員に少しでも関心を持っていただけたら幸いです。



に少しでも関心を持っていただけたら幸いです。

議会広報特別委員会
副委員長
矢澤 毅彦

議会広報特別委員会

委員長 増井裕壽 副委員長 矢澤毅彦
委員 大竹啓正 岡村典明 白井泰彦 中村今朝子
林 孝彦 井出勝正 内川集雄